

令和5年美濃加茂市教育委員会 12月定例会 会議録

1 開会日時及び場所

令和5年12月19日（火）午後3時00分から午後4時20分まで
美濃加茂市生涯学習センター2階 202会議室

2 出席者

(教育委員)

教育長 古川 一男
委員 高野 光泰
委員 鹿野 久美子
委員 渡邊 博栄
委員 武田 由美
委員 安藤 摩里

(事務局)

事務局長 田口 真吾
学校教育課長 竹腰 宣行
教育センター次長 佐伯 好洋
教育総務課課長補佐 鷺見 省吾

3 欠席者 なし

4 開会 午後3時00分

5 議事日程等

(1) 教育長あいさつ

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 会議録の承認について

○ 11月定例会会議録

(4) 議事

○議第1号 美濃加茂市学校教育振興事業補助金等交付要綱の一部を改正する告示について

(5) 協議・報告事項

- ① 教育委員会行事予定等
- ② 教育センター事業報告

(6) その他

会 議 録

(1) 教育長あいさつ

古川教育長

※教育長から開会のあいさつ

・来週の今日が2学期の終業式という状況になってまいりましたので、2学期もいよいよまとめの時期に各学校の方も入っているという状況です。振り返ってみますと去年のこの会のときに、冒頭に私がこうやって話をさせてもらった最初の話にコロナのことをお話させてもらって。コロナの感染者がちょっと落ち着いてきたのがまたここへきて、小中学校とも感染が拡大して増加しているよってというような話と、学級閉鎖が1校、東中学校でしたけど、出たということ。子どもはもとより、教師も感染が広がって学校も色々苦しい状況の中で2学期のまとめに入っていくよってというような話をさせてもらいました。そうやって思いますと、この1年ってというのはずいぶん状況が変わったなということを改めて思うんですけども。ただ、代わりに今インフルエンザが。コロナも全く今なくなったわけではありませんで、少しずつですけども報告は入っていますけれども。今多くはインフルエンザの大流行で、12月に入って小学校4校で10学級が学級閉鎖に入っていて、今現在も太田小学校が1学級学級閉鎖を進行中というような状況です。そうやって思いますと去年のコロナの感染が増加してきているよってというよりも、感染の流行は、中身は違うんですけど今の方が激しい状況かなっていうことを思いながら去年のことを振り返っています。

・これで4分の3、本年度終える節目になりますので改めまして各市内の各学校の状況についてちょっと話をさしていただこうかなと思います。一つ目は児童生徒数のことですけども、美濃加茂市は人口も微増ってというのが今も続いているんですけど、美濃加茂市子ども達も4月1日の数字を比べますと今現在で32人増えています。小学校で22人、中学校で10人増えているというような状況です。今空き教室が増えてきて教室をどういうふうに使おうかっていうところで頭を悩ませている他の市町村なんかはそういう状況なんですけど、うちはまた学級が増えるのでどうするかってというような悩みもある状況は変わらないです。その増加のベスト3を見ますと、一番本年度人数が増えたのが西中学校で8人増えている。出入りはもちろんあるんですけど、相殺して8人増えている。ナンバー2は山手小学校の7人増。ナンバー3が加茂野小学校の6人増というような形で。減少したのが2校。山之上小学校と下米田小学校がそれぞれ1人ずつ減っているというような状況です。児童生徒数の増加のベスト3っていう話をしましたけど、相対的にはその児童生徒数でいきますと今現在一番多いのは東中学校の881。2番目が西中ではなくって古井小学校の787。3番目に西中学校の774人というような状況で、古井小学校はずいぶん児童数が増えてきているよってというような状況です。逆に山之上小学校が9

7人ということで4月とそんなに人数自体は変わらないんですけども、初めて本年度二桁に入ったという事で。伊深小学校が現在の小規模特認校の子供たちも入れて81人ですので、いよいよ山之上小学校と伊深小学校と人数も変わらないような状況が出てきているなというふうな状況があります。

・二つ目の外国人。美濃加茂の特性の一つに外国人の児童生徒が多いということがあるんですけども。これも4月1日の数字と比べますと今現在で10人増えています。外国の子ども達が入りが非常に激しいので、出るのも多いんですけど入ってくるのも多いということで。特に太田小なんを見ましても、ほとんど出入りのは外国の名前が出ているような状況なんですけど。増加しているベスト3は、ナンバーワンは西中の6人、2番目は太田小の3人、3番目は古井小の2人というような形で西中校区の外国人の子はちょっと増えてきているかなという傾向が今のところ見られます。国別ですと、一番多いのがフィリピン。2番目がブラジルですけど、フィリピンが全体の約半分。ブラジルルーが46%ということで、ブラジルの方とフィリピンの方と合わせるともう95%。ほとんどがこの2国なんですけど、その後中国の国籍の子が12人、その次にペルーが入ってくるという事です。あと国を見ますと、ベトナム・ケニア・スリランカ・ボリビア・パキスタン・カンボジアっていうような国名の子達が今市内の小・中学校に在籍しているような状況で。キーワードはやっぱり三つ。増加と多国籍化と散在化っていうのが今の外国の子達の傾向の一つにあるなということで。今市内の全ての小・中学校に数の大小はあるんですけども、全ての学校に外国籍の子供たちが在籍しているっていうような状況になっています。

・三つ目に、本市の課題の一つの不登校ですけど、今日も教育センターの方からも話があると思いますけども、4月と11月1日の数字と比べますと、小学校で14人増えた。それから中学校で45人、4月と比べると不登校でカウントされた子達の数字が出ています。ただ昨年度の今の段階と比べると、小学校では2人減、中学校では2人減というふうで何をもって多い少ないかっていうことの判断は難しいですけど、去年の今の時期と比べると若干数は減ってきている。それぞれの学校での取り組みも、少し成果として出ているのかなと思いつつも、まだまだ数は多いところっていうことで。そんなような状況で今12月、2学期の締めに入ろうとしています。

・来年度に向けてですけど、今予算の折衝の真っ只中で、うちの局長や課長も色々関わって一生懸命動いてるんですけど、まだまだ今の段階で結果は出ないんです。今の段階で何とか来年度に向けてやっていきたいことをここで四つ挙げるとすると、一つは支援員とかのぞみ教室、外国の子達の指導支援っていうところの指導体制を強化していきたいということを思っています。何らかの形でこのところは考えています。

二つ目は、不登校の未然防止っていうことも含めて、ぱっと相談で

きるような相談体制を取っていきたいということで来年度全ての小・中学校に相談員を1人貼り付けて配置して、子ども達により寄り添っていける体制をとっていきたいというのを考えています。

三つ目は、あじさい教室とは別に、家からなかなか一歩踏み出せないような子達も、何らかの形で足をふっと向けられるようなそういう環境、受け皿っていうか、そういうところを作っていこうというふうに思っています。あじさい教室はちょっと別なところでふっと足を向けて話し、思いを吐露できたり、自分の気持ちが落ち着くようなそういう環境を作っていきたいというふうに考えています。

最後四つ目ですけども、小学校に入る前の段階でまだ日本語が十分理解できない子達への日本語指導。そういう体制も強化していききたいなと思っていますし、学童も、これも他の課の範疇なんですけど、学童も来年度も全ての小学校で5・6年生も受け入れていくっていう子育て支援という充実ということで、そういうことを来年度に向けて進めていきたいというふうに今の段階で考えております。なかなか不登校等についても、外国の人達の対応についてもまだまだ今で十分とは言いきれない中でも、何とかできるところから手を打っていきたいという思いでおります。そのようなところで報告をさせていただきます。

・最後に報告ですけども、一点。10月の定例教育委員会でお伝えしたんですけども、給食センターの中島栄養教諭が献立のメニューを地域との連携というようなことで、全国学校給食甲子園に県から選ばれていきますという話をさせてもらってたんですが、先日その大会がありました。報告ですけども、本人はもう行っただけでもいいっていうふうに言ってたんですけど、結果としては1,079件のうち2位に入った。そんなふうで嬉しい喜ばしいことだなっていうことを思っています。中身については地域の特徴を活かすっていうことで、加茂農林高校の梅ジャムをうまく応用して使うっていう事で、本年度1回給食で出してるっていうんですけど、このメニューをまた教育委員の皆さん方と一緒に食べるタイミングがあればなということも思っていますが。そのようなことも一点、嬉しい事ですけども報告をさせていただきました。

それではただいまから美濃加茂市教育委員会令和5年12月の定例会を開会いたします。

(2) 会議録署名委員の指名

古川教育長

会議録署名委員の指名を行います。美濃加茂市教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和5年12月定例会会議録の署名者は安藤委員をお願いいたします。

安藤委員

はい。

(3) 会議録の承認について

① 11月定例会会議録

古川教育長

次に、会議録の承認についてです。11月定例会会議録を事前にお送りしておりますが、訂正等はよろしいでしょうか。
特にないようですのでご承認いただいたという事でお願います。

(4) 議事

議第1号 美濃加茂市学校教育振興事業補助金等交付要綱の一部を改正する告示について

古川教育長

では初めに「議第1号 美濃加茂市学校教育振興事業補助金等交付要綱の一部を改正する告示について」を議題とします。
事務局に説明を求めます。

竹腰学校教育課長

※資料を基に、美濃加茂市学校教育振興事業補助金等交付要綱の一部を改正する告示について説明。

・この改正の理由としましては、会計監査の指摘などを受けまして補助金が積算根拠や目的に合致する要綱とするためにというようなところで見直しをしております。改正の概要としましては、一つ目に各事業の負担金に係る補助については、一般会計の負担金の項目より支出することとしまして、この補助金の対象から除外をするというような事。もう一つは、概算払いの手続きについて、市からの通知の手続きを不要としたというような大きな2点です。この他それに伴うような字句、文言様式等を整理したというようなことです。

・第5条のところですが、規則第18条第1項の規定による期日は、当該事業終了14日又は補助金交付決定を受けた日の属する年度の3月末日のいずれか早い。これは会計年度において全て執行がなされるというようなところで付け加えたところです。

・第6条になります。様式第1号が概算払いの通知書。これは概算払いできるということになっておりますので、市からの通知は不要であるということでこの様式を省いております。その関係で様式3号まででしたが、1号がなくなりましたので1号2号の二つのみという形に変更しております。

・別表ですが、部活動推進事業です。これが県の中体連負担金等に対する補助金というような形でしたが、人数に割り当てて補助しておりますので負担金という扱いをするということで除外をさせていただくということです。部活動推進事業各種大会出場補助金に関わりましては、中学校在籍の生徒としておりましたが、これを部活動に在籍する生徒という形で限定をしたという事。教科研究会運営事業に関わりましては対象事業が広くございましたので、現在補助しておる事業に限定をするというようなところで改正をしております。学校保健会の運営事業に関わりましては、先ほど

と同じように負担金の要素が強いというところで除外をさせていただいております。教育研究会運営事業について、対象を美濃加茂市の教育研究会主催の事業に限定をしたというところで、科学作品展と社会科作品展に限定をさせていただいたというようなところ。主にこういうところを改正をさせていただいております。

古川教育長

何かご質問等ございませんか。
様式請求書、通知書、決定通知書の様式ですけれども、このことについては変更はありませんか。

竹腰学校教育課長

中身の変更はありません。

高野委員

題名については、「等」を省いたということですね。

竹腰学校教育課長

負担金のところがなくなりまして、補助金についての要綱ということです。

古川教育長

見出しとの整合性は問題ありませんか。

鷺見課長補佐

令和6年4月1日から題名も変わるということで、現在は「等」が入った状態で問題ありません。

安藤委員

改正前と改正後であるものかないものは。教科研究会運営事業というのが教育研究会という名称となった。学校保健事業はなくなった。

竹腰学校教育課長

そのとおりです。

古川教育長

他に質問等ありましたらお願いします。
(委員：意見等なし)
それでは議第1号については議決されたものと認めます。次へいきます。

(5) 協議・報告事項

① 教育委員会行事予定等

古川教育長

では「教育委員会行事予定等」をお願いします。

竹腰学校教育課長

※資料を基に、教育委員会行事予定等について説明。
・12月です。1日から3日までですね文化の森にて子ども展が行われました。2日の日にはわくわくドキドキ科学の広場が開催されました。大変盛況でたくさんの方に参加をいただいております。

- ・中学校が合唱祭をこの時期を行っておりまして、1日に双葉中学校、14日に西中学校、15日に東中学校がそれぞれ合唱祭を行っています。
- ・26日になりますが2学期の終業式が行われるという形になります。
- ・1月になります。1月7日日曜日ですが、美濃加茂市の成人式が開催をされるということと美濃加茂のハーフマラソンが実施される予定です。
- ・9日火曜日が3学期の始業式というような形になります。

古川教育長

ありがとうございます。何かお聞きになりたいことはありませんか。では次へ行きます。

② 教育センター事業報告について

古川教育長

では次に「教育センター事業報告」をお願いします。

佐伯センター次長

※資料を基に、教育センター事業報告について説明。

<研修・研究事業>

・12月5日の教頭研修において学校と行政の連携のあり方ということで、福祉課の鈴木さんにお越しいただきまして発達支援センターの構想等についての説明をしていただきました。

・22日今週金曜日ですけれども教育相談員の研修を予定しております。
 ・児童生徒市民への支援ということで、12月1日から3日の金土日3日間で子ども展を開催しました。参加者数は3日間で2,222名と大勢の方に参加をしていただくことができました。また中日の2日土曜日にわくわくドキドキ科学の広場をエントランスホールにて、7ブースで参加枠180名枠のところ173名の参加がありまして子ども達が色々な科学体験を楽しみながら過ごす事が出来たかなというふうに思っています。

・教育実践論文ですが、11月末でもって最終応募確認をいたしまして、応募総数は教職員21名、論文数は22ということで、お一人は2本の論文を出されるという事です。1月10日を締め切りとしまして、その後第一次審査を教頭先生方をお願いしまして、最終審査は1月18日の予定です。これの表彰式につきましては、令和6年2月21日に。予定としましては、2月の校長会とそれからあじさい賞の表彰式が予定されておりますが、その後に実際論文についての表彰式もあわせて開催する予定となっております。

・初任研の第3回。市の研修としましては今年度最終に当たるわけですが、11月21日と28日の2回に分けて、市内の保育園・こども園での保育実習に取り組んでいただきました。今年度ですが、11月に実施ということで、インフルエンザが大変早く流行した関係でその時期と重なってしまいました。昨年度は6月にこの実習を行ったわけですが、各園の方から6月については、実習生が看護学生であったり、保育士や幼稚園教諭免許を取るための実習生が色々入るので、秋にして欲しいという要望を受けまして今年度3回目を保育実習でやっていたわけですが、今年度

についてはちょっと感染症の流行の問題がありまして。実は初任者のうち1名も発熱症状があつて延期をしております。1月に受け入れをしてくださる太田第2保育園だったと思いますが、1名のみ1月にまだ実習を行う予定になっております。

- ・性教育推進委員会並びに社会科副読本の編集委員会をともに2月に実施予定で今年度の実践のまとめや評価等を行っていく予定になっております。

- ・子ども展につきましては、出品数については合計で660作品を展示させていただきました。来場者数を見ますと、やはり金曜日は平日なので参加者数が少なかったんですが、2日目・3日目は1,000人前後ということで大変多くの方に参加いただきました。中には2日間とも来館して下さった方もありました。やはり中日の土曜日が科学の広場も併せて行いましたので、参加数が多かったかなというふうに捉えております。また来場者の感想アンケートについてですが、「素晴らしい作品展なので展示期間がもう少し長いと良い」というご感想をいただいておりますけれども、これ土曜日日曜日につきましては、子ども展の運営委員となっている学校の代表の先生方に2時間ごとに当番を持っていただいております。謝礼としては教育研究会から出してはおりますが、そういった学校の先生方に週休日にもご負担をかけるというようなこと。それから平日についても、やはり色々と参加者から問い合わせがあつたり、ご意見があつたりということで、何も人を付けないで展示だけするということはちょっとできないので、時期間を長くすることはなかなか難しいかなと思っております。もちろん展示室は文化の森の方でも利用予定がありますので、子ども展で長く期間を取るということも難しいということもあります。保護者の方からも色々ご意見いただきましたし、先生方も色々と参観していただいてその先生方へのご意見等も色々いただきました。やはり力作がたくさん並んでおりますので、そういった指導に対するねぎらいの言葉をいただくことができました。それから来館者からの指摘、問い合わせ等も色々ありまして、例年毎年注意をお願いをしておるんですが、出品票の名前の字の違いがあつたりとか、中にはですね、最終的には保護者の勘違いだったんですが、生涯学習センターの教育委員会の前の廊下にも子ども達の作品を展示しているスペースがあるんですが、その作品展示に対して保護者に承諾をちゃんと取った上で展示しているんですけども、それを保護者の方が子ども展と勘違いをされて見に来ただけで、展示がないじゃないかっていう事でそのときにはお怒りだったんですけど、学校に確認したら対象の展示会が別だということで、学校の方から連絡をさせていただいて、保護者の方にはご理解いただけたんですけども。こういった事の対応、可能な限り迅速に対応するという事でセンターの担当者も2日間これ終日、会場に詰めておる状態ですので、なかなか展示を長くするというのはちょっと難しい状況かなというふうに捉えております。

- ・科学の広場ですが、定員180名のところは173名。小学生、中学生ちょっとあまり見かけた記憶はないんですが、私服で来ておるのでちょっと中学生がどうかっていうのは見分けはつかないんですけども、たくさ

んの参加をしていただきました。当日の予約受付ということでブースは午後の開催だったんですけれども、10時半から受付とさせていただいたんですが、受付開始前には50名ほどの方が並ばれてということで最初のところでの受付手続きは若干大変な状況でございました。来ている子ども達は割とリピーターの子が多くて昨年度も来た。ですので、やっぱり希望するブースが去年体験していないブースを希望する子が当然ですが多いので、去年と同じ内容のブースについては、スタート時点では若干人気がなかったんですけれども、やはり会場に子ども展へ参加に来たお子さんも多くてやってみたいということで、最終的にはほぼほぼ満員の人数という形になりました。それから以前は学校の先生方、特に理科の先生方にもブースの開催をお願いをしておりましたが、学校の負担を考慮しまして今年度は全て学外の講師によるブースというふうにさせていただきました。来年もその形での継続を考えております。

・令和6年度の行事調整につきましては、今各担当者から来年度の計画についての報告をいただいているところでして、2月1日には一次配信、そして3月15日には最終配信を予定して進めているところです。

<不登校対策関連事業>

・長期欠席については、小学校のその他が前月と比べて5人以上減り、中学校の病気・けがとその他は5人以上増えました。それから昨年度と今年度の人数の比較ということで、病気・けがは小中ともに大きく増えております。インフルエンザ自体は出席停止の扱いですので、欠席ということではないんですけれども。やはり色々な感染症も流行したり、それに伴って体調崩したりということで、7日以上欠席をカウントした子はちょっと11月は増えたかなという印象です。逆に不登校につきましては、微減ではありますが小中ともに-2という事です。ただ前年度比では微減なんですけれども、小学校では、11月ちょっと新規が増えたと。10月がちょうど0でしたので、プラス5ということです。それから中学校の方は保健室相談室への登校生徒数が増えてきたということで、そういったところでの受け入れ体制を整えていることが少し成果に繋がっているかなというふうに感じます。

・まとめとしまして、小学校では新規の増加、それから再現（再度不登校を示した）ですね。一度7日以上欠席でカウントされまして、その後月の欠席日数が7日以下になった。一旦解消と見られたんですがまた7日以上になったよってというような、そういったところがちょっと増加しています。それから体調不良による欠席が大変多い状況でございました。中学校については、やはり新規に加えて再現者数ですね。そういったところがやっぱり増えてきている。あと新規については中1の子の増加がやや目立つような状況だということでございます。逆に7日以上だったものが7日以下になったという改善については、全て3年生ということで。やはり進路を意識した時期になってきまして、自分なりにそういった状況を何とか改善していこうという意識の変容が登校に繋がったのではないかなというふうに考えます。

・登校扱い状況については、中学校が相談室26ということで、一応増えたので黄色の網掛け（5人以上の増）にはなっていますが、全てではないんですが、全く登校できていなかった状況から相談室へ足を向けることができるようになった子が増えたという意味では、黄色は良くない方の数値の増加の印象が強いですけれども、内容から考えると状況の改善の結果とも見ることができるかなと思っております。

・あじさい教室ですが、11月は14日開室しまして、17人が通室をしました。4月当初は8名でスタートしましたので、あじさい教室への通室者数も少しずつですが増えてきております。その分スタッフの方も1人で複数の子どもの様子を見届けていかなければいけないということで。安定的に通室している子は11人、12人ぐらいですけど、スタッフ精一杯でいるところです。まだ今現在も見学やお試しをしている子もいますので、今後もまだ増えていく可能性があるかなというふうに思っております。

<発達相談特別支援関連事業>

・発達相談、学校からの相談については12月5件でございました。それから電話相談は3件。そのうち中学生が2件ということなんですけれども、1名は名前、学校名等も名乗らなかったということなんですけど、体のことや性的なことでの悩みを相談したいということで電話がかかってきたりもしています。それから小学校につきましては2学期の中でちょっと増えたんですが、三者懇談等が行われたことによって、学校での様子が保護者に伝えられた中で保護者がちょっと相談をかけたとかいうようなことも出てきております。

・10月11月で専門員による巡回発達相談等も行いました。やはりADHD傾向の児童生徒が非常に多くなってきていまして、もう既に小学校の高学年や中学生になっているような状況。そういった特性は低学年のうちから出てきて見られてはいるんですけども、なかなかその保護者の方がそこに対しての具体的な手立てを取ることに對してあまり積極的になれなかったっていうケースもありまして、学年が進んでもちょっと落ち着いて取り組めていないというような状況があるようです。学校としましては丁寧に保護者との懇談を通しながら、また専門員にもお力も借りながら巡回発達相談等の機会を有しまして、保護者に見立てをフィードバックしていくような形で丁寧な説明をこれからも継続していきたいと考えております。

古川教育長

教育センターより事業の報告をしてもらいました。

ご質問等はございませんか。

教育実践論文のことですけど、新しい21人の教員の方から応募があったということで、数自体は昨年度と比べるとどのような傾向ですか。

佐伯センター次長

昨年度とほぼ同数でございます。以前に比べると若干減ってきてるのかなというふうに思いますが、全体的には2年目3年目という若い先生方の応募ということで、どの学校も「1回は新しく来た学校で自分なりの実践

をこういう形でまとめることも研修だよ」ということで取り組んでいただいているのが多いかなというふうに思いますが、中には10年以上の経験の方の応募もありますので。

古川教育長

ありがとうございました。
他に何か質問等ございませんか。
(委員：意見等なし)
では次へいきます。

(6) その他

古川教育長

その他はありますか。

田口事務局長

この12月議会の関係の報告だけさせていただきたいと思います。

- ・12月議会におきましては、教育委員会からは条例の改正案が1件出させていただいております。内容としましては、11月の教育委員会の定例会の方で議決をいただきました、教育委員会の附属機関として検尿判定委員会の設置をするというそういった案件の条例改正上程をいたしまして、本日19日の最終日において議決をいただいておりますという状況でございます。
- ・それから12月の7、8で一般質問がございましたが、そちらの方では、教育総務課関係では3名の議員さんから、学校給食関係で3点8項目、施設整備関係で2点、11項目。学校教育課関係でも4名の議員さんから、小規模特認校関係で1点4項目、それから不登校関係で2点6項目、子育て支援関係で1点3項目、多文化共生関係で1点4項目、制服関係で1点4項目という大変多くの質問をいただいております、それぞれ答弁をさせていただいたところでございます。
- ・それから市長・議長・教育長宛てに提出をされておりました小中学校の給食無償化を求める請願の採択というものがございまして、こちらにつきましては趣旨採択というものになりました。趣旨採択というのは、お願いについては理解はできますけれども、財政事情等でなかなか実現は難しいよという場合には、趣旨には賛成という意味で趣旨採択というものをするんですが、そういった議決という内容になっております。
- ・なお、本日市議会から提出されました学校給食費無償化を求める意見書というものが出されました。さっきの請願については市の予算でも無償化をやってくださいというのでしたので、それはちょっと財政事情とで難しいよという事でしたけども、市議会から出す学校給食費無償化を求める意見書というのは、国の方で無償化を実現してほしいという、そういう意見書を出すという事です。こちらについては本日可

決をいただきまして、衆参両院議長それから内閣総理大臣等に提出されるという事になりましたので併せてご報告をさせていただきます。

古川教育長

ありがとうございます。12月の議会の内容について報告がありました。今回も教育関係は非常に多く質問をいただきました。議員の皆様方も、学校教育に随分関心を寄せていただいて、それはそれでありがたいなっています。

その他はありますか。

(事務局：特になし)

では最後に次回の日程を確認したいと思います。

田口事務局長

※1月定例会の日程調整について説明

(委員日程調整)

1月定例会は、1月29日(月)15時00分から、会場は後日お知らせします。

古川教育長

2月19日(月)は9時から定例教育委員会。10時半から総合教育会議を開催しますので、よろしく願いいたします。

その他よろしいですか。

それでは以上で令和5年12月定例会を閉会いたします。皆さんありがとうございました。

閉会 午後4時20分